

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その1)

2022年7月

「スマートプラットフォーム・フォーラム」設立発表会		第1回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2013(平成25)年12月2日(月) 15:30~16:50	開催日・時	2014(平成26)年3月17日(月) 14:00~18:00
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 東館ホール8F	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 南館ホール
開会挨拶	山下徹 理事長	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」~第1弾:農業分野のスマート化からビジネスを考える
発起人代表挨拶 (委員長挨拶)	「フォーラム設立に当たって」 村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)	開会挨拶	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)
発起人挨拶Ⅰ (幹事挨拶)	「フォーラム活動について」 南 政樹氏(慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)	幹事説明	「スマートプラットフォーム・フォーラム活動の進め方」 南 政樹氏(慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)
発起人挨拶Ⅱ	「スマート」とは 稲蔭正彦氏(慶應義塾大学 メディア・デザイン研究科長 教授)	基調講演	「インターネット前提社会」 村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)
発起人挨拶Ⅲ	「W3CとWEB面からのコメント」 舟橋洋介氏(株式会社トマデジ 特別顧問)	講演Ⅰ	「空間情報インフラと作物モデリングをベースとする農業情報サービス」 本多 潔氏(中部大学中部高等学術研究所 国際GISセンター教授)
		講演Ⅱ	「クボタスマートアグリシステム(KSAS)」 飯田 聡氏(株式会社クボタ 常務執行役員 開発本部副本部長)
質疑応答	司会:飯野嘉郎 事務局長 登壇者:村井 純 代表発起人(委員長)、稲蔭正彦 発起人、舟橋洋介 発起人、南 政樹 発起人(幹事)	パネルディスカッション	テーマ:「農業分野のスマート化からビジネスを考える」 モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト:本多 潔氏、飯田 聡氏 高原 幸一氏(株式会社NTTドコモ M2Mビジネス部長、プレゼン:「農業分野のM2M活用事例について」) 庄司 昌彦氏(デジタルコンテンツ・データ分科会主査、国際大学 GLOCOM 主任研究員) 舟橋 洋介氏(サービス・WEB分科会主査、W3C Web & TV IG共同議長) 南 政樹氏(デジタルインフラ分科会主査、慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)
閉会挨拶	関 祥行 副理事長	閉会挨拶(*)	飯野 嘉郎 事務局長、*:フォーラム参加募集の説明を含む
		共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金
参加者数	会場参加者:89名(内訳:一般参加者:75名(内 報道関係者:12名)、直接関係者:14名)	来場者数	会場参加者:151名(内訳:一般参加者:137名、直接関係者:14名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:1,308、コメント数:350
アンケート調査 (本発表会は有意義でしたか?)	大変有意義だった:20.3% 有意義だった:73.0% どちらとも言えない:6.8% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:31.6% 有意義だった:59.6% どちらとも言えない:8.8% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その2)

第2回スマートプラットフォーム・フォーラム		第3回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2014(平成26)年9月8日(月)14:00～18:00	開催日・時	2015(平成27)年3月26日(木)14:15～17:30
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～第2弾:スマート健康・医療プラットフォームの課題を考える～	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～農業ITの将来と「スマートアグリ」のグローバル展開～
開会挨拶	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部部長・教授)	開会挨拶/ 基調講演	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部部長・教授) テーマ:「スマートプラットフォーム:具体的な進展」
基調講演	「医療におけるICT分野の役割と使命」 松本純夫氏 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 名誉院長)	分科会報告 I	「スマートアグリ」デジタルインフラ分科会検討報告 南 政樹 幹事、デジタルインフラ分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部講師)
講演 I	「医療の世界最先端の知的基盤化」 吉田 淳氏(内閣官房 健康・医療戦略室 企画官)	分科会報告 II	「スマートアグリ」データ・コンテンツ分科会検討報告(農業生産物の選択の幅を広げるノバ(農場)) 庄司 昌彦 氏(デジタルコンテンツ・データ分科会主査、国際大学 GLOCOM 主任研究員)
講演 II	「ヘルスケアプラットフォームにおける価値創造」 森川富昭氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科准教授)	分科会報告 III	「スマートアグリ」サービス・WEB分科会検討報告 舟橋洋介 サービス・WEB分科会主査(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授、W3C Agriculture CG共同議長)、代理説明:南 政樹 幹事
パネルディスカッション	テーマ:「スマート健康・医療プラットフォームの課題を考える」 モデレータ: 森川富昭氏、パネリスト:松本純夫氏、吉田 淳氏 渡辺賢治氏(慶應義塾大学環境情報学部教授、医学部兼任教授、プレゼン:「漢方を通じた個別化医療の道」) 田口空一郎氏(一般社団法人フューチャー・ラボ 代表理事、プレゼン:「健康・医療のスマートプラットフォームとは?」) 庄司昌彦 デジタルコンテンツ・データ分科会主査(国際大学 GLOCOM主任研究員)	パネルディスカッション(第1部)	テーマ:「農業ITの将来～農業ITが当たり前になる時代に～」 モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト: 榑 浩行氏(農林水産省 生産局農産部技術普及課 課長、プレゼン:「スマート農業の推進」) 二宮正士氏(東京大学大学院 農業生命科学研究科 教授、プレゼン:「2050年には人口は90～95億? 食料は足りるか?」) 長網宏尚氏((株)クボタ 農機第一事業推進部 KSAS業務グループ長、プレゼン:「クボタスマートアグリシステム KASAのご紹介」) 遠藤 諭 データ・コンテンツ分科会副主査((株)角川アスキー総合研究所取締役 主席研究員、プレゼン:「ネットからリアル空間の変革が始まっている」)
		パネルディスカッション(第2部)	テーマ:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」を国際戦略の柱に～ モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト: 田雑征治氏(内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室 企画調査官(農業IT担当)、テーマ:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」を国家戦略の柱に～) 木浦卓治氏(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター上席研究員、W3C Agriculture CG共同議長、プレゼン:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」国際戦略の柱に～) 本多 潔氏(中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター教授、プレゼン:「IT農業の日本と世界の動向」) 田中邦裕 デジタルインフラ分科会副主査(さくらインターネット(株) 代表取締役社長、プレゼン:「さくらインターネットのご紹介」)
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金	共催・協賛	共催:一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、文部科学省気候変動適応研究推進プログラム「地球環境変動下における農業生産最適化支援システムの構築」、一般社団法人ALFAE、協賛:株式会社クボタ
来場者数	会場参加者:165名(内訳:一般参加者:147名、直接関係者:18名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:147	来場者数	会場参加者:113名(内訳:一般参加者:94名、直接関係者:19名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:710
アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:61.9% 有意義だった:38.1% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%	アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:44.0% 有意義だった:52.0% どちらとも言えない:4.0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その3)

第4回スマートプラットフォーム・フォーラム		第5回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2015(平成27)年9月11日(金)14:00~18:00	開催日・時	2016(平成28)年3月28日(月)14:00~18:00
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～高齢化社会における住環境のスマート化を考える～	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～2020年のスマート健康・医療プラットフォーム～
開会挨拶/ 基調講演Ⅰ	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部 教授) テーマ:「Living in the IoT World」	開会挨拶	飯野嘉郎 事務局長(注:村井純委員長が体調不良で、司会の飯野嘉郎 事務局長が代行した)
基調講演Ⅱ	「住宅・建築・都市のスマート化」 村上周三氏(一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長)	分科会報告	「健康・医療分科会 活動報告」 南 政樹 健康・医療分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部 講師)
講演Ⅰ	「高齢化世帯住宅のホームネットワークを考える」 境 真良氏(国際大学 GLOCOM 客員研究員)	基調講演	「IoTが創るHospital in the Home-遠隔医療の現場が変わる?」 松本純夫氏(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 名誉院長)
講演Ⅱ	「スマートハウスの実現に向けて」 竹川禎信氏(パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 専務)	講演Ⅰ	「次世代医療ICT基盤の構築に向けて」 堀内直哉氏(内閣官房 健康医療戦略室 企画官)
講演Ⅲ	「超高齢社会 在宅におけるヘルスケア・見守りのスマート化」 西川勝利氏(セコム医療システム株式会社 常務取締役 在宅ヘルスケア本部長)	講演Ⅱ	「自律分散協調ヘルスケア」 橋田浩一氏(東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター 教授)
パネルディスカッション	テーマ:「高齢化社会における住環境のスマート化を考える」 モデレータ: 遠藤 諭 デジタルコンテンツ分科会副主査(株式会社角川アスキー総合研究所 取締役 主席研究員)、パネリスト: 境 真良氏、竹川禎信氏、西川勝利氏、南 政樹 デジタルインフラ分科会主査 (慶應義塾大学 環境情報学部 講師)	講演Ⅲ	「テレビのデータ放送を使った双方向コミュニケーションによる地域活性化と見守りの取組み」 高橋伸夫氏(株式会社日立製作所 情報・通信システム社 公共システム事業 官公ソリューション 第三本部 主任技師)
		パネルディスカッション	テーマ:「2020年のスマート健康・医療プラットフォーム」、 モデレータ:南 政樹 健康・医療分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部講師)、パネリスト:松本純夫氏、堀内直哉氏、橋田浩一氏、高橋伸夫氏
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾	共催・協賛	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾
来場者数	会場参加者:147名(内訳:一般参加者:129名、直接関係者:18名)	来場者数	会場参加者:156名(内訳:一般参加者:141名、直接関係者:15名)
	ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:494		ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:419
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:32% 有意義だった:64% どちらとも言えない:4% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:32.9% 有意義だった:63.3% どちらとも言えない:3.8% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その4)

第6回スマートプラットフォーム・フォーラム		第7回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2016(平成28)年10月21日(金) 13:30~17:30	開催日・時	2017(平成29)年7月5日(水) 14:00~18:00
開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール	開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」~2020年のスマートプラットフォーム<IoTで日本を元気に!>~	テーマ	<2020年IoTで日本を元気に!>イノベーションを成功させるデザイン&「新事業育成分科会」等の新設
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)	開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)
基調講演	「非連続に変化する時代の着眼点」 谷川史郎氏(株式会社野村総合研究所 理事長)	基調講演	「なぜイノベーションにデザインが必要か?」 白根英昭氏(株式会社mct 代表取締役CEO ストラジスト)
講演Ⅰ	「人とモノのミライを作る通信の役割」 宇佐見正士氏(KDDI株式会社 理事 技術統括本部 技術開発本部長)	講演Ⅰ	「デザイナーと研究者が出会うとき - 同床化によるイノベーションの試み」 平井千秋氏(株式会社日立製作所東京社会イノベーション協創センタ 主管研究長)
講演Ⅱ	「IoTとディープラーニングの関係性について」 松田総一氏(リーブマインド株式会社 代表取締役CEO)	講演Ⅱ	「有志からイノベーションを目指して~87プロトタイプの意味~」 角岡幹篤氏(株式会社富士通研究所IoTシステム研究所 IoTサービスプラットフォームプロジェクト、OneJAPAN ハッカソン分科会代表)
講演Ⅲ	「IoTスタートアップが牽引するデジタル・トランスフォーメーション」 安達俊久氏(グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長)	講演Ⅲ	「ドコモの農業IoTと地方創生の取り組み」 有本香織氏(株式会社NTTドコモ 第一法人営業部IoTプロジェクトチーム IoTデザインガール(アグリガール002)
パネルディスカッション	テーマ:「2020年のスマートプラットフォーム<IoTで日本を元気に!>」 モデレータ: 森川博之委員長、パネリスト: 南政樹幹事(慶應義塾大学 環境情報学部講師)、谷川史郎氏、 宇佐見正士氏、松田総一氏、安達俊久氏、	パネルディスカッション	テーマ:イノベーションを成功させるデザイン モデレータ: 森川博之 委員長、パネリスト: 白根英昭氏、平井千秋氏、角岡幹篤氏、有本香織氏
		講演Ⅳ	「農業データ・コンテンツ分科会からウェルフェアイノベーション分科会へ」 庄司昌彦 分科会主査(国際大学グローバルコミュニケーションセンター 准教授)
		講演Ⅴ	「新事業育成分科会の活動について」 杉本誠司 分科会主査(株式会社エクササイズ代表取締役社長、元 株式会社ニワンゴ代表取締役社長)
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾	共催・協賛	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、日本農業情報システム協会、協賛: 株式会社NTTドコモ
来場者数	会場参加者: 95名(内訳: 一般参加者: 80名、直接関係者: 15名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数: 90	来場者数	会場参加者: 115名(内訳: 一般参加者: 96名、直接関係者: 19名)、懇親会: 47名 ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数: 235
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった: 43.9% 有意義だった: 53.7% どちらとも言えない: 2.4% 無意味だった: 0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった: 47.5% 有意義だった: 52.5% どちらとも言えない: 0% 無意味だった: 0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その5)

第8回スマートプラットフォーム・フォーラム		第9回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2018(平成30)年4月17日(火) 14:00~17:40、交流会:17:50~19:10	開催日・時	2019年4月9日(火) 14:00~18:00、交流会:18:10~19:30
開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール	開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール
テーマ	「Society5.0時代の人材育成」	テーマ	「健康・医療分野の課題をどう解決するか?~ICT活用を中心に~」
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)	開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)
基調講演	「これからのICT人材育成に必要なこと」 栄藤稔氏(大阪大学 先導的学際研究機構 教授)	特別講演	「健康・医療分野におけるデータ活用の在り方」 江崎禎英氏(経済産業省 商務・サービスグループ政策統括調整官、(兼)厚生労働省 医政局統括調整官、(兼)内閣官房 健康・医療戦略室次長)
講演 I	「i.school: Innovation = 実践x理論」 横田 幸信氏(i.schoolディレクター, i.lab, Inc.マネージングディレクター)	基調講演 I	「4K・8Kテレビ時代を迎えるネット診療への期待と課題」 松本純夫氏(独立行政法人国立病院機構東京医療センター名誉院長、厚生労働省 顧問、内閣官房IT推進戦略本部委員)
講演 II	「スタンフォード大学発 国際的産学連携ネットワーク:ME310/ SUGAR」 スシ スズキ氏(京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任准教授)	基調講演 II	「医療におけるトレーサビリティの確立を目指して」 落合慈之氏(NTT東日本関東病院名誉院長、東京医療保健大学学事顧問、GS1ヘルスケアジャパン協議会会長、医療トレーサビリティ推進協議会理事長)
講演 III	「社会変革を担う博士人材の育成ー京都大学デザインスクールの試みー」 石田 亨氏(京都大学 情報学研究科 社会情報学専攻・教授)	講演 I	「ヘルスケアのためのパーソナルデータエコシステム」 橋田浩一氏(東京大学大学院 情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター教授)
講演 IV	「未踏のご紹介」 竹内郁雄氏(東京大学 名誉教授、IPA未踏統括プロジェクトマネージャ)	講演 II	「規制改革推進会議からみた一気通貫の医療」 川淵孝一氏(東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科医療経済学分野教授)
パネルディスカッション	テーマ:「大学・企業のイノベーション教育はどうあるべきか」 モデレータ: 栄藤 稔氏 パネリスト: 横田幸信氏、スシ スズキ氏、石田亨氏、竹内郁雄氏	講演 III	「超高齢社会~佐渡島~における社会保障提供の現実と対策」 佐藤賢治氏(新潟県厚生連佐渡総合病院 院長)
閉会挨拶	飯野嘉郎 事務局長	パネルディスカッション	モデレータ: 森川博之 委員長、 パネリスト: 江崎禎英氏、松本純夫氏、橋田浩一氏、川淵孝一氏、佐藤賢治氏
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、一般社団法人情報社会デザイン協会	共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、ヘルスケアIoTコンソーシアム、ITヘルスケア学会、GS1ヘルスケアジャパン協議会、医療トレーサビリティ推進協議会
来場者数	会場参加者:119名(内訳:一般参加者:100名、直接関係者:19名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:230	来場者数	会場参加者:142名(内訳:一般参加者:125名、直接関係者:17名) ネット参加者(V-CUBEライブ・オンデマンド累積来場者)数:89
アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:51.1% 有意義だった:48.9% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%	アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:67.6% 有意義だった:32.4% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その6)

第10回スマートプラットフォーム・フォーラム		第11回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2019年4月17日(火) 14:00~17:40、交流会:17:50~19:10	開催日・時	2020年5月22日(金)14:00~16:50
開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール	実施形式	V-CUBE のスタジオからライブ配信、チャットで質問受付
テーマ	『ローカル5G』のユーザ視点からの推進について	テーマ	『ローカル5G 普及研究会』設立発表のライブ配信について
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)	開会挨拶	青山友紀 BA 理事長(東京大学 名誉教授)
特別講演	「データ主導社会の実現に向けて」 谷脇康彦氏(総務省 総合通信基盤局長)	研究会委員長の講演	「ローカル5G 普及研究会の設立について」 中尾彰宏氏(東京大学 大学院情報学環 教授)
講演Ⅰ	「5Gの普及展開に向けた取り組み」 萩原直彦氏(総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長)	実証試験WG 主査の講演	「ローカル5G オープンラボの対応状況について」 伊藤陽彦氏(東日本電信電話株式会社 ネットワーク事業推進本部 高度化推進部長)
講演Ⅱ	「ローカル5Gの可能性と情報通信の民主化への期待」 中尾彰宏 研究会委員長(東京大学大学院 情報学環 教授)	技術WG 主査の講演	「ローカル5G 普及に向けた技術開発について」 藤本幸一郎氏(日本電気株式会社 デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹)
パネルディスカッション	テーマ:「ローカル5Gの利用分野と普及推進の課題~Local 5G・自営網技術の情報通信民主化をもたらす革命~」 モデレーター: 中尾彰宏 研究会委員長(東京大学大学院 情報学環 教授)	ネット参加者からの質疑応答	回答者: 中尾彰宏委員長、伊藤陽彦 実証試験WG主査、藤本幸一郎 技術WG主査
	パネリスト: ・関口和一氏((株)MM総研 代表取締役所長、元日本経済新聞社論説委員:「5G戦略で問われる日本の競争力」)	関係団体の講演Ⅰ	「5Gに関する東京都および産業労働局の取組について」 坂本雅彦氏(東京都 産業労働局 次長)
	・岩浪剛太氏((株)インフォシティ 代表取締役:「ローカル5Gの利用シーンイメージ」)	関係団体の講演Ⅱ	「ローカル5G 可用性向上に向けたNICTの研究開発」 松村 武氏(国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) ワイヤレスネットワーク総合研究センター ワイヤレスシステム研究室 研究マネージャー)
	・石津健太郎氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 経営企画部 企画戦略室 プランニングマネージャー:「ローカル5Gの本質的な役割と利用促進に向けた課題」)	ネット参加者からの質疑応答(オーディエンスを含めた討論)	モデレーター: 中尾彰宏委員長 パネリスト: 伊藤陽彦 実証試験WG主査、藤本幸一郎 技術WG主査、松村 武氏(NICT) オーディエンス: 岩浪剛太氏(株式会社インフォシティ 代表取締役)、石津健太郎氏(国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 経営企画部 企画戦略室 プランニングマネージャー)
	・藤本幸一郎氏(日本電気(株)新事業推進本部 主席主幹:「ローカル5G導入のインパクトと実現に向けた課題」)	閉会挨拶	飯野嘉郎 BA 事務局長、青山友紀 BA理事長、中尾彰宏 委員長
・伊藤陽彦氏(東日本電信電話(株)ネットワーク事業推進本部 高度化推進部長:「NTT 東日本におけるローカル5Gの展望と課題」)	共催	協賛	株式会社フィキューブ
・吉本明平氏((一財)全国地域情報化推進協会 企画担当部長、関東学院大学非常勤講師 地域情報化アドバイザー:「地域課題解決の手段としてローカル5Gが選ばれるには」)			
・渡部宗一氏(イーヒルズ(株) 取締役:「ユーザーがこれからの通信に期待するもの」)	閉会挨拶	飯野嘉郎 BA 事務局長、青山友紀 BA理事長、中尾彰宏 委員長	
閉会挨拶	青山友紀 BA理事長(東京大学 名誉教授)	閉会挨拶	飯野嘉郎 BA 事務局長、青山友紀 BA理事長、中尾彰宏 委員長
未場者数	会場参加者:245名(内訳:一般参加者:225名、直接関係者:20名) ネット参加者(V-CUBEセミナー累積未場者):817名	ネット参加者数 コメント数	ネット参加者(視聴者)数:3,058名(延べ)(ライブ配信:2,564名、オンデマンド:494名) ライブ配信チャット質問(コメント)数:514件
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:59% 有意義だった:41% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:48% 有意義だった:50% どちらとも言えない:2% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その7)

第12回スマートプラットフォーム・フォーラム		第13回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2020年10月14日(水)13:00~16:00	開催日・時	2021年10月13日(水) 13:30~17:30
実施形式	V-CUBE本社(白金高輪)会議室からのライブ配信、チャットで質問受付	実施形式	明治記念館 会議室からのオンラインのライブ配信
テーマ	「ICT活用した高齢者の生活支援～認知症を予防するため～」	テーマ	「今後のローカル5Gの普及推進について」
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)	開会挨拶 I	岩本敏男 BA理事長(NTTデータ相談役)
来賓挨拶	佐藤光史(工学院大学 学長)	開会挨拶 II	森川博之 フォーラム委員長(東京大学大学院教授)
特別講演	「データ主導社会と高齢者」 谷脇康彦氏(総務省 総務審議官)	基調講演 I	「地域課題を解決するローカル5Gの普及活動について」 中尾彰宏氏(東京大学大学院教授、ローカル5G普及研究会委員長)
基調講演	「COVID-19以後の日本社会における高齢者に相応しい生活環境」 長澤泰(工学院大学特任教授・共生工学研究センター長、東京大学名誉教授)	基調講演 II	「ローカル5G普及推進に向けた今後の取組み」 池田 満氏(総務省 情報流通行政局 デジタル経済推進室長)
講演 I (遠隔登壇)	「鎌倉リビングラボ:生活者を中心とする産官学民の共創の場」 秋山弘子 東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター客員教授	パネルディスカッション I	テーマ:「ローカル5Gで花開くユースケース」 モデレータ: 関口和一氏(MM総研 代表取締役所長)
講演 II	「人生100歳時代をどう迎えるか?～暮らしの保健室の試みから～」 秋山正子 (株)ケアーズ代表取締役 暮らしの保健室 室長)		パネリスト: 中尾彰宏氏(東京大学大学院教授 ローカル5G普及研究会委員長) 峯 幸洋氏(NTT東日本 設備企画部 無線ビジネス推進PT担当部長) 藤本幸一郎氏(日本電気 デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹) 松本俊博氏(NHKエンタープライズ 取締役 CDXO)
講演 III	「見守りサービスから派生する新しい付加価値とその社会実装へ向けて」 羽生和人(総合警備保障株式会社 HOME ALSOK事業部課長)		テーマ:「今後のローカル5Gの普及推進について」 モデレータ: 中尾彰宏氏
講演 IV	「高齢社会標準化の動向」 山田筆(日本規格協会フェロー)	パネルディスカッション II	パネリスト: 藤本幸一郎氏 森 大樹氏(富士通 5G Vertical Service室 エグゼクティブディレクター) クロサカタツヤ氏(企 代表取締役) 石津健太郎氏(NICT Beyond5Gデザインイニシアティブ室長)
ネット参加者からの質疑応答	モデレータ: 山田筆(日本規格協会フェロー) パネリスト: 長澤泰(工学院大学特任教授・共生工学研究センター長、東京大学名誉教授), 秋山弘子(東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター客員教授) 羽生和人(総合警備保障株式会社 HOME ALSOK事業部課長)		閉会挨拶
閉会挨拶	岩本敏男 BA理事長(株式会社NTTデータ 相談役)	閉会挨拶	松本俊博 BA副理事長(NHKエンタープライズ 取締役 CDXO)
共催	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人ITヘルスケア学会 情報通信政策フォーラム	協賛	株式会社フィキューブ
協賛	株式会社フィキューブ		
来場者数	会場参加者(関係者):9名 ネット参加者(V-CUBEセミナー):647名(延べ)/ライブ:409名、オンデマンド:238名)	来場者数	会場参加者(関係者):19名 ネット参加者(V-CUBEセミナー):1,106名(延べ)/ライブ:588名、オンデマンド:518名)
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:37% 有意義だった:59% どちらとも言えない:4% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:54.5% 有意義だった:45.5% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その8)

項目	第14回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2022年7月25日(月) 13:30~17:20	
開催場所	V-CUBEスタジオ	
テーマ	「地域DXを牽引するローカル5Gのユースケース」	
開会挨拶/祝辞	中尾 彰宏 副理事長	
特別講演Ⅰ	「デジタル田園都市国家構想について」 吉田 恭子 氏(デジタル庁 国民向けサービスG 統括官付参事官)	
特別講演Ⅱ	「2030ケーブルビジョン」 糸 将之 氏(一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 審議役)	
基調講演	「ローカル5Gにおける産学連携の取り組み」 中尾 彰宏 副理事長、フォーラム副委員長/ローカル5G普及研究会委員長	
令和3年度ローカル5G開発実証等の事例報告	司会:中尾彰宏氏 講師:武居弘純氏(東日本電信電話株式会社 ネットワーク事業推進本部設備企画部 担当部長「NTT東日本のローカル5G開発実証の事例報告」) 講師:藤本幸一郎氏(日本電気株式会社 上席テクノロジー・エバンジェリスト) 「ローカル5G開発実証で加速するDXの社会実装」 講師:佐藤直人氏(富士通株式会社 モバイルシステム事業本部 モバイルソリューション事業部長) 「富士通のローカル5G開発実証の事例報告」 講師:福原哲哉氏(株式会社NHKエンタープライズ イノベーション戦略室長) 「演出をケーブルから解放つ〜令和3年度実証実験ユースケースより〜」 講師:伊賀野康生氏(株式会社企 執行役員 チーフ・テレコム/メディア・コンサルタント) 「令和3年度ローカル5G開発実証の全体的な傾向」 講師:松村武氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター ワイヤレスシステム研究室長) 「NICTのローカル5G実証に関する取り組み」	
パネルディスカッション	テーマ:ローカル5Gの真の価値 モデレータ:中尾彰宏氏 パネリスト:松本俊博氏(株式会社NHKエンタープライズ 取締役 CDXO、BA副理事長)、 武居弘純氏、藤本幸一郎氏、伊賀野康生氏	
閉会挨拶	岩本敏男 理事長	
共催	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) ・一般社団法人電気通信協会(TTA) ・一般社団法人電気通信事業者協会(TCA) ・NPO法人映像産業振興機構(VIPO) ・一般社団法人デジタルメディア協会(AMD) ・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF) ・一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) ・一般社団法人IPTVフォーラム(IPTV) ・公益財団法人原総合知的通信システム基金(原財団) ・一般社団法人日本OMG ・一般財団法人インターネット協会(IAJapan) ・一般財団法人関西情報センター(KIIS) ・一般財団法人全国地域情報化推進協会(APPLIC) ・一般社団法人テレコムサービス協会(TELESA) 	
協賛	・(株)ブイキューブ	
来場者数	会場参加:6名、ネット参加者(延べ):1,109名(ライブ:612名、オンデマンド:497名)	
アンケート調査 (本講演会は有意義でしたか?)	大変有意義だった:61.1% 有意義だった:38.9% どちらとも言えない:0% 無意味:0%	